

精密合成化学セミナー（第7回）

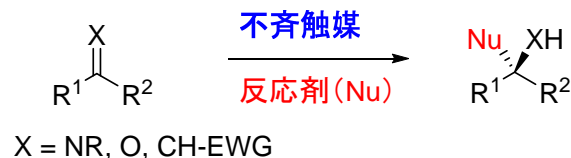
新規不斉触媒の創製と四置換不斉炭素構築法の開発

中村 修一 博士

（名古屋工業大学工学研究科・教授）

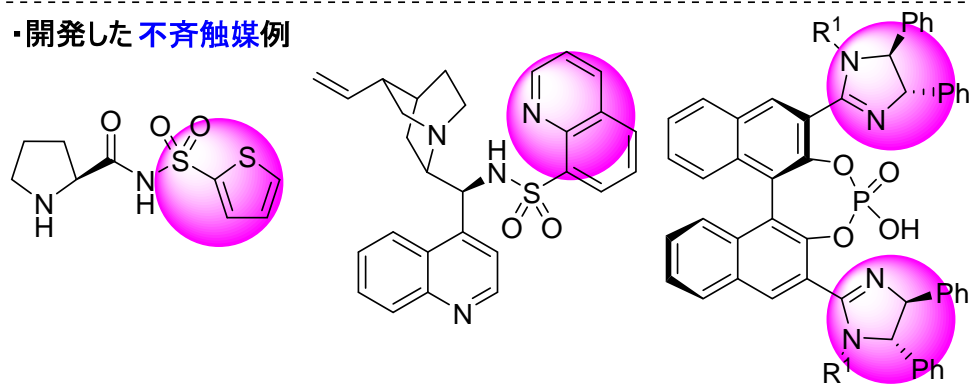
近年、医農薬、ファインケミカル分野で光学活性化合物の果たす役割が増しており、新しい不斉触媒、不斉合成手法の開発が世界中で精力的に行われている。2021年度のノーベル化学賞は、このような“不斉有機触媒の開発”に対して、David MacMillan および Benjamin List に対して授与されたのは、記憶に新しい。しかしながら、現状でも既存の不斉触媒では達成できない合成反応も数多く存在し、さらなる新機能を付与した不斉触媒の設計・開発が望まれている。このような観点から、本セミナーでは、最近、我々が開発してきたいくつかの不斉触媒を紹介し、これまでに達成困難であったいくつかの不斉合成反応、特に、四置換不斉炭素の構築法および環境にやさしい合成技術への展開を紹介する。

・四置換不斉炭素構築



- ・立体制御
- ・効率的合成
- ・生物活性物質合成
- ・環境調和型合成
- 現状の不可能を可能へ！

・開発した不斉触媒例



2022年7月29日(金) 15時より

コラーニングハウスII 4F CII講義室

問合先 精密合成化学研究室 土肥寿文（内線 6181）

【共催】 R-GIRO

「物質の時空間制御を実現する有機資源の有効利用」